

公益財団法人 東京都農林水産振興財団

平成30年度 第2回理事会議事録

日時：平成30年6月4日（月曜日）

午後1時30分から

場所：（公財）東京都農林水産振興財団

立川庁舎 講堂

理事の現在数 8名  
理事出席者 5名  
本人出席 5名  
産形 稔 榎本 輝夫 志茂 忠昭 上林山 隆 望月 龍也  
欠席 3名  
中村 清志 前川 燿男 尾崎 保夫  
監事の現在数 2名  
監事出席者 1名  
傳田 純  
欠席 1名  
坂本 義次

議長 産形 稔

議事録署名人 産形 稔 傳田 純

議決事項

第1号議案 平成29年度事業報告及び決算について  
第2号議案 定時評議員会の日程及び場所並びに目的である事項の決定について

報告事項

理事の職務執行状況の報告（29年度下半期）

## 1 開会

(上中管理課長)

理事会開会を宣言する。

## 2 定足数報告

(上中管理課長)

理事現在数8名、理事の本人出席5名で、当財団定款第44条に定める定足数を満たしているため、本理事会は成立していることを報告する。

## 3 開会挨拶

(産形理事長)

理事会の開催にあたり、以下のとおり挨拶を述べた。

本日29度ぐらいになっているかもしれませんが、暑い中、理事・監事の皆様お集まりいただき、誠にありがとうございます。本日の理事会2回目となりまして、平成29年度事業報告及び決算が中心となりますけれども、よろしくご審議の程お願い申し上げます。

昨年度ですが、東京都の監理団体改革の議論が内部でされていまして、財団自らの自己点検や現状分析等を行ったり、東京都の顧問の方のヒアリングがございました。

一言感想を言わせていただくと、職員は大変だっただろうなという印象がございます。とはいえ、監理団体の改革をやるのだということで、近いうちに関係のペーパーがホームページに掲載するという話を聞いております。また、監理団体の改革の中で、財団理事会の議事録もホームページに掲載しなさいという話があります。そのような形で、オール都庁で監理団体の改革が動き出しているということでございます。そのところはまた、いろいろなところでお話できたらなと思います。

それから、今回の理事会から、理事の職務執行状況を報告するということになりました。所管である生活文化局から特だして指導がございましたので、今回からその報告をさせていただくことになりました。どうぞよろしく願いいたします。

暑い6月ですけれども、2020年のオリパラはもっと暑い8月の下旬に始まるということで、大変だと思いますけれども、4月の人事異動も終わりました、これからオリパラに向けてもそうですが、その先を見据えて東京の農林水産業の振興に向けて財団として一丸となって、全力を挙げていくつもりでございます。

理事、監事の皆様のご指導ご鞭撻を受けながら、邁進していきたいと思っております。また、行政をはじめ関係団体の皆様と一緒に、東京の農林水産業の振興に努めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 4 議長選任

(上中管理課長)

当財団定款第43条により、議長は理事長があたることとなっているので、産形理事長に議長をお願いする旨、発言する。

5 議長就任

(議長)

産形理事長が議長を務める旨を発言し、議事進行に協力を求め、議長となる。

6 議事録署名人選出

(議長)

当財団定款第48条により、議事録署名人は理事長と監事があたることとなっているので、産形理事長と傳田監事を指名し、両者とも承諾する。

7 議事

(議長)

これより議事に入る旨、発言する。第1号議案、平成29年度事業報告及び決算について、事務局の説明を求める。

(山宮事務局長)

第1号議案、平成29年度事業報告及び決算について、議案書及び資料により説明する。

(議長)

事務局の説明に引き続き、監事監査の結果について、傳田監事の報告を求める。

(傳田監事)

「監査報告書」をもとに、事業報告等、計算書類及び附属明細書並びに財産目録等が適正である旨を報告する。

(議長)

質疑を諮ったところ、榎本理事から質問があった。

(榎本理事)

細かい質問なのですが、まず、後継者対策事業の15ページ、16ページの情報提供・普及啓発事業ということで、各地区4ヶ国語の情報提供資料をいただいて、我々も非常に使わせていただいておりますが、30年度も作成されるのかというのが1点です。

もう1点ですが、試験研究・成果還元事業の青梅畜産センター事業で、トウキョウXの関係なのですが、一生懸命トウキョウXを推進していただいているのですが、農家数がどんな軒数であるか、聞くところによると埼玉とか茨城の方にも行っているということですが、実際の養豚農家に種豚を出荷している件数を教えていただければと思います。

(山宮事務局長)

まず情報誌ですが、一昨年作成しました地域別の情報誌を、今年はリニューアルして作成することになっております。

(平野事業課長)

トウキョウ X の関係ですけれども、都内農家が 5 軒、他県 10 軒配付しています。生産配布実績の方で、種豚が 18 頭、雄 18 頭、雌 85 頭となっておりますけれども、農家さんが肥育豚を取るための種豚としての頭数ですので、実際のトウキョウ X になる肉豚につきましては、今年 9600 頭以上、今まで一番多い頭数を出荷しております。

(議長)

さらに質疑を諮ったところ、特になしとなり、異議なしの声があり、第 1 号議案は原案どおり可決承認する旨を宣する。

(議長)

第 2 号議案、定時評議員会の日程及び場所並びに目的である事項の決定について、事務局の説明を求める。

(山宮事務局長)

第 2 号議案、定時評議員会の日程及び場所並びに目的である事項の決定について、議案書により日時及び場所、議題を説明する。

(議長)

質疑を諮ったところ、異議なしの声があり、第 2 号議案は原案どおり可決承認する旨を宣する。

(議長)

報告事項、平成 29 年度下半期の理事の職務執行状況について、事務局の説明を求める。

(山宮事務局長)

報告事項、平成 29 年度下半期の理事の職務執行状況について資料により説明する。

(議長)

質疑を諮ったところ、特になしとなり、報告事業については終了する。

(議長)

最後に、自由意見を求めたところ、傳田監事から発言があった。

(傳田監事)

せっかくオリンピックに向けて、夏用の花などを開発していただいでいて、これをどこで生産するのか、どのくらい生産するのか、これは出口の話ですから、JA さんだったり、東京都さんだったり、考えていただかなくてはいけないと思います。せっかく作っても活用されなくては意味がないので、ぜひこれを生産していただければ

と思います。

それから、オリンピック組織委員会としてはどのぐらいを必要としているのか、というのをぜひ情報を提供していただいて、財団の方に教えていただき、連携を図っていく必要があるのではないかと思います。これはぜひお願いをしていきたいと思ひます。

(榎本理事)

今、監事さんの方からお話しあった件ですけれども、東京都の方から依頼がございまして、私どもの東京の農家で花を作っている東京都花卉連という団体があるのですけれども、去年から日比谷公園で夏の花がどういう生育をしているのかという試験研究をやらせていただいております。これは財団さんと東京都さんの協力によりまして、当然初めての経験でしょうから、いろいろな花、いろいろな種類を作らせていただいて、夏にあった花はどのようなものかという研究をさせていただいております。今年もやらせていただいて、来年も当然やる予定になっております。東京都との協力関係のなかで、ぜひとも JA グループとして協力していきたいと思っております。昭和 39 年のオリンピックは、私、小学校 4 年生だったのですけれども、聖火台にならんだ鉢、キクのポット約 5 万鉢なのですけれども、JA 東京グループが、当時、私ども JA 東京中央会の加藤源蔵さんという都議会議員をされた方が、通路に作らせていただき、東京の花の PR をさせていただいております。今日、上林山部長もいらっしゃるので、できるところから協力していきたいと思っておりますし、花に限らず、農産物の GAP 認証の取得等積極的に対応していきたいと思ひますので、よろしくお願ひしたいと思います。

(議長)

本日の審議は終了した旨を宣し、議長を降りる。

## 8 閉会

(上中管理課長)

以上をもって、平成 30 年度第 2 回理事会を終了する旨を告げ、閉会する。

以上、相違ないので、記名、捺印する。

平成 30 年 6 月 4 日

議事録署名人 産 形 稔

議事録署名人 傳 田 純